

松姫さま



▲^{しんしょうに}信松尼^{まつひめ}(松姫)^{もくちようぞう}の木彫像

「松姫」という人の名前を聞いたことがありますか？

「松姫もなか」というお菓子や^{かし}浅川^{あさかわ}にかかる^{つるまきばし}鶴巻橋^{ちようこく}にある彫刻の一つのモデルになった人でもあります。

松姫は、今から420年以上前に今の^{やまなしけん}山梨県^{かのじよ}から八王子にやってきました。なぜ、車も電車もない時代にそんなに遠くからやってきたのでしょうか。彼女の人生をたどってみましょう。

おいたち

松姫は、永禄4年（1561）に古府中（今の甲府市）のつつじが崎の屋敷で生まれました。父親は戦国時代の武将の一人で甲斐の国（今の山梨県）を中心に活躍した武田信玄、母親は油川信友の娘です。

永禄10年（1567）11月、松姫が7歳の時に織田信長の11歳の長男信忠（幼名：奇妙丸）と婚約しました。結婚のお祝いの品は、帯や布地、織物、金・銀の細工物、虎やヒョウの毛皮など豪華な品々がやりとりされました。

この時代の身分の高い人たちの結婚は、「政略結婚」といって、家同士の結びつきを強めるために、本人の意思と関係なく親が決めていました。結婚式まで相手の顔を見ないこともありました。

かなしみ、そして旅立ち

元亀2年（1571）、松姫が11歳の時に母が亡くなり、翌年には武田家と織田家が敵・味方に分かれてしまったため、信忠との婚約が解消されてしまいました。原因は、三方が原の合戦の時、織田の軍勢が武田と敵対していた徳川の軍勢に加勢したためでした。

さらに、天正元年（1573）4月には父・信玄が亡くなり、織田家は武田家を滅ぼそうと攻めるようになりました。武田家が滅亡する天正10年（1582）1月下旬、松姫は、留まっていた兄・仁科盛信の高遠城に織田軍が攻めてくるとの知らせに、兄・盛信の3歳になる姫を連れて高遠城を逃れました。その後、新府城に行つて兄・勝頼の4歳になる姫、人質として預かっていた小山田信茂の4歳になる姫も加え、少ない供を連れて逃げ延びていきました。

高遠城（長野県高遠）から始まり、新府城（山梨県韮崎）
→入明寺（甲府市）→開桃寺（今の海島寺・塩山市）
→向獄寺（塩山市）→金照庵という古寺（八王子市上恩方）まで、幼い姫たちを連れ、そしていつ敵に見つかるともしれない旅は、精神的にも肉体的にも大変なものでした。

6月2日、本能寺の変が起こり、武田家を滅ぼした織田信長、信忠が亡くなってしまいました。その年の秋、金照庵から心源院（八王子市下恩方）に移り、髪を切って、尼になり、信忠をはじめ、武田家一族の人たちの冥福を祈りました。



▲鶴巻橋の松姫像

尼になって名前が「松姫」から「信松尼」に変わりました。松姫、22歳のことです。信松尼の「信」は、信忠の妻であるという意味が込められていると伝えられています。

信松尼と信松院

心源院で8年間の修行をつみ、天正18年（1590）の秋、御所水の里（今の台町）に移り住みました。尼としての生活を送りながら、11、12歳になった3人の姫たちを育て生活するため、朝から晩まで働きました。収入は、寺子屋で近所の子どもたちに読み書きを教えたり、織物を作ることから得ました。もちろん、織物はカイコを育て、糸をつむぐことから始まります。これらの松姫の織り方が、八王子の織物の発展につながったと言われています。



▲信松院(台町三丁目)

また、かつて武田信玄につかえていた大久保長安は、松姫が八王子にいることを知り、彼女のためにりっぱな草庵（今の信松院がある場所）を贈りました。元和2年（1616）、松姫は56歳で亡くなりましたが、生前の願いがかない、この草庵はお寺にされ、「信松院」と名付けられました。

このお寺には、松姫のお墓、江戸時代のなかごろに作られた木造の松姫坐像、日本最古の木造の軍船模型があります。この軍船模型は東京都の指定文化財になっています。

境内には布袋尊がまつてあり、毎年1月の1日から15日まで八王子七福神巡りの一つとしてにぎわいます。また、毎年7月には「ほおすき市」がおこなわれ、夏の風物詩になっています。

八王子七福神巡り

一般的な七福神に吉祥天を加えて、八福神としているのが特徴です。

- ・毘沙門天（本立寺）・恵比寿天（成田山伝法院）・福祿寿（金剛院）
- ・布袋尊（信松院）・吉祥天（吉祥院）・弁財天（了法寺）
- ・大黒天（善龍寺）寿老尊（宗格院）

調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。

- * 最初にかいてある数字は、本の背表紙についている分類（ラベル）番号です。
- * ☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

☆21-28 武田信玄息女 松姫さま展 「武田信玄息女 松姫さま」委員会／編

1973年

松姫の生涯を簡単に紹介。展示会の出品目録、関係史跡地図あり。

☆21-29 郷土みてある記 八王子市生活文化部広報課／編 1995年

小学校の先生が、八王子の歴史や、関係の深い人物や動・植物、事柄を小学生にもわかるようにやさしく解説したもの。

21-28 武田信玄息女 信松尼公記 北島藤次郎／著 1972年

松姫にまつわる話が詳しく書かれている。略歴などあり。

21-93 信松尼 河辺リツ／著 2004年

松姫と信忠の物語。

☆21-93 松姫ものがたり 菊池正／著 1991年

こども向けに書かれた松姫さまのおはなし。

松姫さま

参考文献を所蔵している図書館 ※2011年2月現在

表の中の○は貸出もできるもので、△は見たり、コピーしたりできます

タイトル	所蔵図書館				
	中央	生涯学習	南大沢	川口	北野分室
武田信玄息女 松姫さま展	△				
郷土みてある記	△	△	△	△	
武田信玄息女 信松尼公記	△				
信松尼	○	○	○		○
松姫ものがたり	○	△	○	○	